

審議会等の会議結果報告書

【担当課】 幼児教育課

会議の名称	第2回 茅野市保育所運営審議会		
開催日時	平成30年3月5日(月) 午後7時00分～8時10分		
開催場所	茅野市役所 705会議室		
出席者	※委員出席：戸田允文会長、伊東久公副会長、矢崎美知子委員、北原明委員、広瀬七波委員、笹岡八重子委員、村山恵子委員、小林智委員、小林俊恵委員 ※市側出席者：牛山津人志こども部長、五味留美子幼児教育課長、立石淳二保育総務係長、小林弘夫幼児教育係長、鋤柄由美子園長		
欠席者	滝澤星児委員		
公開・非公開の別	(公開) ・ 非公開	傍聴者の数	人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
事務局(五味課長)	1 開会 本日の案件についての説明。 一点目は、平成30年度茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額、保育料についてですが、茅野市の独自基準の改正について諮問をさせていただき、答申をいただくことになる。 二点目は、茅野市保育所管理計画に伴う事業の進捗状況について説明する。		
市長	2 市長あいさつ お忙しい中、2回目となる保育所運営審議会にご出席をいただき感謝申し上げます。3月1日から4日まで台湾高雄市に中学の交流に行ってきたが、交流の充実と中学のみならずどんな交流ができるか視察をし、高雄市の市長と懇談をしてきた。初めて幼稚園の視察もした。高雄市の子供も明るく元気で茅野市の保育園の子供と変わりなかった。保育士の先生も、子どもに接するうえで大切なことである、明るくエネルギーに活動していた。そういうことを通して、また市民の皆様と共に、保育行政を考えていきたい。		
事務局	3 議長選出 茅野市保育所運営審議会条例の第5条の規定に基づき保育所運営審議会戸田会長を議長に選出。 戸田会長はあいさつ後、議長に就任した。		
議長	4 会議事項 (1) 審議会等の会議の公開について 本日の会議については公開とし、又ホームページ等で議事録の公開をするときは委員名を伏せて公開することに異議がないか一同に図ったところ、全員異議なくこれを了承した。		

事務局	<p>(2) 平成30年度茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額（保育料）について</p> <p>事務局は資料に基づき、国の段階的無償化の取り組みによる1号認定子どもの利用者負担額の減額に伴う、茅野市独自の利用者負担額の軽減を拡大することについて簡潔に説明した。</p> <p>市長から戸田会長に諮問書を渡す。</p>
議長	<p>平成30年度茅野市子どものための給付利用者負担額の改正について協議します。ご意見ご質問はありますか。</p>
委員	<p>一点確認したい。国からの改正でそれに伴い市も独自の改定をしていくということだが、国の指針が遅れた場合、3月でなく6月の議会で報告をするとの話があったが、平成30年4月にさかのぼるのか、それともそのまま国の指針において6月議会に通った時点からになるのか。</p>
事務局	<p>政令公布が3月31日の交付となると思われるので、4月1日からの施行となる。専決処分で4月からの改正ということでやらせてもらう。議会へは6月に報告をする。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
委員	<p>資料の3ページ特定教育・保育施設等の利用者負担、平成30年度、資料4ページ平成29年度教育・保育給付に関する利用者負担額表について、平成29年度の保育料が今の茅野市の保育料で平成30年度が国の保育料なのか。</p>
事務局	<p>どちらも同じ額だが、国の方の資料3ページは、1号認定について14,100円から10,100円になると表記がしてあるが、基本的に2号認定の金額は変わらないので、29年度もこの額で国の基準もなっていると見て欲しい。</p>
委員	<p>国の方は多子カウント年齢制限有りが小学校就学前だが、茅野市は小学校3年生までは軽減の数に入れていただけという意味か。</p>
事務局	<p>国基準のカウントの考え方になるので、市の独自基準は小学校3年生以下ではすべてカウントし独自軽減として行っている。</p>
委員	<p>上の子が4年生になったらどうか。</p>
事務局	<p>保育園に入っているお子さんが第一子としてカウントされる。茅野市の独自軽減としてやっている。</p>

委員	<p>そうすると、第一子が小学校3年生の場合、年少さん年中さんの第二子としてカウントされているのに、上の子が4年生になったら第一子と数えるのか。</p>
事務局	<p>そうです。保育料としては第一子として数える。三人目のお子さんは上のお子さんが4年生になっても第三子として軽減の対象になる。二番目のお子さんは第一子というカウントで見ると。</p>
委員	<p>歳を離して産んだ子は、上の子が4年生になる時年長さんがいると、1号認定にした方が安くなるのか。</p>
事務局	<p>1号認定も同じ考え方になるため安くはならない。基本的にどちらも兄弟関係がいても軽減をするということで昨年まで独自軽減をしてきたので、その考え方は1号でも2号でも同じ考えで軽減をしていく。</p>
委員	<p>資料4ページの中にある、カウントあるなしに関しては所得によって変わるといふことか。全家庭ではなく、所得が多い家庭については対象になることによいか。</p>
事務局	<p>そうです。</p> <p>事務局は、幼児教育の国の無償化の動向について補足説明をした。</p>
議長	<p>何かご質問はありますか。</p>
委員	<p>財源に関しては未定という話だが、どこから出すのか。</p>
事務局	<p>一般財源からになる。今も保育料プラス一般財源の中でやっている。無償化は31年からなので今回の予算編成の中からも、減収になる部分は一般財源から持ってきて保育の歳出の方に使う。</p>
事務局	<p>当初は算定前に新制度が始まったわけだが、財源は消費税を上げて対応するのが基本的考え方だった。時期がずれてきて国の方針が定まっていない状況である。</p>
市長	<p>これに限らず、国はよい制度を打ち出すが、3年くらいやって後は自分で金出せというのが多いから、安倍総理にしてみると政権維持のためには非常に国民に対して良いが、国が勝手に無償化して金は自治体で出せ、はありうる。出さないわけにはいかないの、市町村は歯を食いしばって無償化に対して耐え抜かないといけないということは往々にしてある。</p>
市長	<p>3、4、5歳で無償化すると年間何億円になるのか。</p>

事務局	<p>3億円くらいは減収になる。</p> <p>私立運営の場合、運営費という決まったお金があって私立に出す方法だが、徴収金額を除いたものに補助金が出るので徴収金額まで無償化になれば運営費全体に対して、国が二分の一の補助金、県が四分の一で補助金の額が増えていくイメージになる。公立の運営の場合、そういう措置がされていない。交付税の中に子どもの人数を報告しているが、交付税では全体的な人数の中のひとつなので、交付税措置されていてもそれが全て保育に関わる形で特定されてこないところがある。どうしても茅野市のように公立保育園が多い自治体では、消費税が上がって子供に使うお金が確保されることになっても、茅野市にとってはメリットがないという状況である。</p>
議長	<p>ご質問ご意見はありますか。なければ答申させていただく。</p>
議長	<p>平成30年度子どものための教育給付に関する利用者負担額保育料について、平成30年3月5日付け、29教幼第120号諮問について、下記のとおり答申する。一つ、平成30年度茅野市子どものための教育・保育給付に関する利用者負担額保育料については諮問のとおりとさせていただきます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ここで市長は、公務の為退席します。</p>
事務局	<p>(3) 茅野市保育園管理計画に係る事業の進捗状況について 事務局は資料に基づき、茅野市保育園管理計画に係る事業の進捗、また合同保育等について簡潔に説明した。</p>
議長	<p>ご意見、ご質問はありますか。</p>
委員	<p>笹原保育園、地域の方が存続のために動いている。笹原については何人ぐらいの園児が確保できれば存続できる目安はあるか。</p>
事務局	<p>何名で存続という考え方ではなく、地区複数園あるところについては、少子高齢化、財政規模縮小の中で保育士の適正配置、質の高い保育を提供するために統廃合は避けて通れないという認識の元取り組んでいる。笹原については地域のみなさん方が何とか保育園を残して欲しい思いがあるので、民営化で残せないか、あるいは特徴のあるやまほいくを導入することによって経営ができる方策はないか。協議をしながら将来の展望を図っている。</p>
委員	<p>地域に一つということは湖東保育園があるという意味か。</p>
事務局	<p>そうです。</p>

委員	<p>笹原保育園は去年、地元の人よりほかの場所から通っている人が多いと聞いた。今年は二人しか入らないということだが。</p>
事務局	<p>地元というよりは近隣の地域から来ていただいていることが多い。平成30年度は新規のお子さんが2名。今の年中児が11名いるので、来年は17名体制で維持できるが、今の年中児が卒園してしまい、入ってくる園児が少ないと10名前後の園児数になるのではないかと予測している。</p>
委員	<p>逆に地区の人に対して、10名切ってしまうが存続できるかということを知りたいことはあるか。</p>
事務局	<p>そこまでの話には至っていない。地域の方は自然環境のいい場所にあるので移住に関する発信をして、移住者を促す取り組みをする必要があるというご意見は戴いている。こちらも公立として厳しいものがあったとしてもやまほいくのような園として発信するのは有効な手段として協議する。ただ公立としての運営を地域の人希望しているので議論を深めていかなければならない。</p>
委員	<p>年長さんになると小学校に入ったことを考えて湖東に通わせるご家庭もあるとかで、年中さんになると減ってしまうという話も聞く。子どもとしても大勢の中に入った方がいいのかとも思う。</p>
事務局	<p>今も22名ほどいるが、この位の人数だと集団の中で育っていくところはあるが、10名を切ってしまうと集団の中で育ちあう観点で課題があるのではないかと感じている。</p>
委員	<p>やまほいくの制度の話が出た中で、民営化でやってくれそうなどころはあるか。</p>
事務局	<p>具体的にはそこまではない。やりたい人はいるが、具体的には話が深まっていない現実。民間の方も運営するには安定して経営できることは大きな視点となるので、どういう形で進めていけるかということ、市の方も一緒に考えていければよいが、具体的ではない現状。</p>
委員	<p>リミットは32年度だというが、その時には笹原の現状は人数不足の現状に陥っているのではないか。</p>
委員	<p>自然消滅もあるのではないか。</p>
委員	<p>保護者の立場では、少人数で先生が見てくれるのはとてもうれしいと思う。</p>
事務局	<p>市長の言葉を借りると、部分最適が良いのか、全体最適が良いのか</p>

	<p>ということを使われている。統廃合を検討されている二園では、保護者の評判がとても良い。こじんまりとした手厚い保育が評価されている。ただ保育士の配置が小規模園なので手厚い、言い方が悪いが国基準に対して余裕がありすぎる所があるので、そのあたりをちの保育園のような一定規模のところに行くと、もうちょっと園児を預かるということになるので、保育士を障害児の加配にまわせたり、預かり時間が増やせたり工夫ができる。良く議論して納得してもらえるようになっていきたい。</p>
委員	<p>市としては笹原保育園に園児を確保する施策はあるのか。</p>
事務局	<p>笹原地区の人が声を大にしていうのは地域振興に保育所は不可欠ということ。保育所というのは児童福祉法に規定された福祉施設であるので子どもたちにとっていい環境をどう提供していくとか、保育を必要とする子供たちの為に、保護者にとって本当に良い施設なのか、本質を外しての議論は違うのでは。そのあたりは丁寧に議論していく必要がある。</p>
委員	<p>各保育園が自分のところはいいですよと PR するというのは、公立保育園では難しく、私立なら PR して来てもらえる。最終的にはどこの園に通うかは親の選択になる。仕事柄都合が良い場所とか、地域に近い場所といったことでの選択だ。市が増やすように PR していくのはちょっと違うと思う。</p>
委員	<p>みどりヶ丘保育園に話が飛ぶが、地域の一つという部分で宮川は広い範囲で公立と私立があり、その中でみどりヶ丘の話が出たと思うが、公立私立を選択するなかで、私立の方が若干お金がかかると思うがその負担をどうするか話はあるのか。</p>
事務局	<p>検討委員会では料金体系の話まで至っていない。みどりの地域の方が、私立であるわかばに入れないと第二に行かなくてはならないのかというご心配をされている方がいた。そうではなくて、バランスよくという話はしている。イメージ的に少子化になり子どもが減ってくるのがピンと来ていない。現状では、びっくりするほど子どもが減っていくのが顕著ではない。</p>
委員	<p>何名いるのか。</p>
事務局	<p>みどりヶ丘は60人位いる。来年も同じくらいの人数を維持している。</p>
委員	<p>みどりヶ丘の方が笹原よりも人数が増える可能性があるのでは。</p>
事務局	<p>そうです。</p>

議長

他にはよろしいですか。

事務局

事務局より合同保育での入園式・進級式の補足説明。

議案はすべて終了したので戸田会長は議長を退任した。

こども部長あいさつ

今年最後の審議会だが慎重審議のうえ答申をいただき、ありがとうございました。今年一年間を振り返ると、北山と小泉のリノベーション準備、笹原、みどりヶ丘の統廃合の検討といった、非常に大きな課題に取り組んだ。来年度は、北山と小泉の本格的な工事が始まり、宮川第二、中大塩のリノベーションの準備が始まる。継続をして笹原とみどりヶ丘の統廃合の検討となる。保育士不足は依然として深刻。待機児童を出さないために、保育士の確保も来年度の大きな仕事として取り組んでいきたい。保育園を取り巻く環境は厳しい状況が続くが、委員の皆様には保育園のよき理解者として、これからも引き続きご協力をいただきたい。

5 閉会

以上を持って、本日の会議日程のすべてを終了した。

五味課長は午後8時10分に閉会を宣言した。